



日本山岳会「高尾の森づくりの会」

<https://jactakao.org/>



「高尾の森づくりの会」へのお誘い



「高尾の森づくりの会」は、公益社団法人「日本山岳会」が母体となって2001年1月に発足した森林ボランティアの市民団体です。趣旨に賛同する方は、どなたでも自由に参加することができます。2025年には創立25周年を迎えました。

活動場所

- ・主な活動フィールドは、八王子市裏高尾町の東京神奈川森林管理署が所管する小下沢国有林と板当国有林で、東京神奈川森林管理署と「森づくり活動に係る協定書」を結び、約102ヘクタールに及ぶ森林で一年を通して作業しています。
- ・また小下沢林道周辺の都有林では東京都と森林整備に関する協定を結び活動しています。

作業日

- ・定例作業日は毎月第2土曜日です。参加者は毎回平均60人程、年間の参加者は森林関連イベントを含めると延べ2,000人に及んでいます。

主な活動

- ・広葉樹を植樹して針葉樹と広葉樹の混交林の造成を進めています。4月に植樹し、春から秋にかけて下刈やつる切りを、冬には間伐や地拵えを実施し、植樹地の手入れをしています。2001年から現在まで約40種、約2万本の広葉樹を植樹してきました。

- ・手入れの行き届いていないスギ・ヒノキの人工林では除伐・間伐を行っています。
- ・このほか登山道の整備、風景林の修景作業などの森林整備を行っています。
- ・また、森林作業に係る研修会、チェーンソーや刈払機講習会、美林見学会、支援企業との交流会を毎年開催しています。
- ・作業小屋では、毎週木曜日に「木工品づくり」にも取り組んでいます。

植樹祭

- ・発足以来15年間、毎年植樹祭を実施してきましたが、植樹するまとまったエリアがなくなり、2016年から2年間は人工林の間伐を行う育樹祭を開催しました。コロナ禍を経て、2022年からはエリアを広げ都有林や板当国有林で植樹祭を再開し、毎年実施しています。

親子森林体験スクール

- ・未来を担う子供たちに森に親しんでもらう目的で「親子森林体験スクール」や「親子キャンプ」を企業等と共催で実施しています。

各種プロジェクト活動

- ・高尾で培った技術を生かして、三宅島復興支援緑化再生プロジェクトなど各地で復興、緑化再生の支援を行っています。



動物カメラによる定点観測

- ・2010年頃からシカを目撃情報が寄せられたことからカメラを設置したところ、2013年からシカの映像が確認されました。現在8ヵ所に定点カメラを設置していますがこの数年でシカが激増。特に2016年にメスシカが確認されてから6年間で14倍に増加。
- ・調査データは林野庁、東京都、八王子市、高尾599ミュージアムなど21関連先に報告しています。
- ・活動エリアでは、下草のみならずアオキ等の新芽の食害が目立つようになりました。更に植樹した苗の新芽が標的になったため、植樹時にシカ対策として色々な形状のシェルターやシカ柵を実験的に設置しています。



森づくりの目標

- ・私たちの森づくりの目標は、かつてここにあった「多様で豊かな森林」を復元することです。
- ・目標とする森林は、植物種が多様で、多彩な林相の森林、また、動物相が豊かで、景観・活気に優れ、森からの恵みも活用できる森林です。
- ・活動指針として50年間のビジョンを定めた「長期計画」を作成しています。



植樹後7年のウミズサクラ（径24cm）



初年度のヤマザクラ

50年後の目標

- ・広葉樹の混じる混交林の比率を、18%から58%に増やしていきます。
- ・また、多様な樹種の混じった混交林となるように、群状集団植樹（1樹種1ユニット当たり20本）を採用。最終的に100㎡当たり、1～2本の高木の成立を目標にしています。
- ・スギ・ヒノキの単相林の比率は81%から41%へ、100年生以上の巨樹林に仕立てます。

会の構成（2026年7月末現在）

個人会員：164名（内訳：男性80% 女性20%）

法人会員：8社（伊藤ハム米久ホールディングス(株)、(株)エリオニクス、京王フラザホテル、高尾登山電鉄(株)、(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント、電源開発(株)、富士電機(株)、三井住友信託銀行(株)）

特別支援団体：公益社団法人国土緑化推進機構 京王電鉄株式会社

森林で過ごすことが好きで、森林作業（植樹、草刈り、除間伐、地拵え、作業道づくり、植樹木の生育調査）、チェーンソーや刈払機作業、間伐材を利用した木工品づくり等に興味があり、入会を希望される方は、ホームページからお申し込みください。 <https://jactakao.org/>

